

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
1	「終了」となっていますが、「子ども家庭総合支援拠点」設置後の取組内容については、子ども・子育て支援事業計画内では、どのようになりますでしょうか。	子育て支援課	今後は、拠点である子ども・家庭総合支援室において子育て世代の各時期に応じた相談、支援の充実を図る取り組みを進めていきます。
11	土日祝日のセンター開所に伴い、利用件数の増加があったのかなかったのか。それともコロナのために評価が難しいのかについて教えていただきたい。	子育て支援課	ファミリー・サポート・センターの利用者は、主に共働き世帯であることから、土日祝日の開所は相談・来所しやすい体制を整えたものであり、実際の利用件数に大きな影響はないものと考えています。相談件数の統計は取っていませんが、体感的には増加していると感じています。
16	3人以上の多胎児が酒田市内ではいなかったために利用がなかったと聞いた記憶があるが、双胎児を含めた結果、支援員の派遣が増加したのか増加していないのか。対象とする多胎児のいる家庭の数はどの程度増加したのか。	子育て支援課	令和3年3月に要綱改正し、対象者を2人以上の多胎児を養育する家庭としました。令和3年度に出産および出産予定の家庭は3組です。うち2組が派遣を申請して、2組が利用しています。
19	ペアレント・プログラムの参加人数はどの程度いたのか。開催頻度は同じだったのか、今後の開催頻度は同程度なのか、増加なのか、減少なのか。	子育て支援課	参加した保護者は11人でした。全6回で構成されたプログラムを1クール実施しました。令和3年度は、プログラムを3クール実施しています。
21 24	入所調整の適正な実施とは何か。要綱に沿っているということであるか。どのような判断基準をもって適正な実施と考えているのかがわからないので教えていただきたい。	子育て支援課	酒田市保育の利用に関する規則第6条（別表第1）に規定する基準により審査、選考及び決定をしています。要綱では入所調整をする際に、家庭状況を加点制にし、点数の高い家庭（保育の必要性が高い）が保育所に入所しやすいようにしています。
23	施設の立入りの結果、何件程度の指導を行ったのか。行政指導であると思われるが、その後改善報告があったのか。	子育て支援課	口頭での指導を3件行いました。全件について、改善の報告がありました。

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
25 26	「支援」の意味がわからない。経済的な支援なのか、延長保育時間に対応する保育士の派遣なのか。延長保育を実施する園のニーズと合致しているのかについてどのように把握されているかも併せてお伺いしたい。	子育て支援課	延長保育、一時預かり事業、病後児保育事業等の利用者のニーズに合わせた事業を実施している園に対し、市が事業の実施に係る補助金を交付し支援しています。(国 1/3、県 1/3、市 1/3) また、延長保育を実施する園から、補助金による支援に関してニーズに合致していないという意見はいただいていません。
27	病児・病後児保育の利用実績はどの程度か。利用人数が少ない場合には縮小が検討されるのか。コロナのため、利用人数の増減についての評価が難しい事情があるか。	子育て支援課	延べ利用人数は284人でした。(令和元年度の延べ利用人数は393人) 新型コロナウイルスの影響下にあっても、利用ニーズ等を踏まえ事業の提供体制を維持していきます。
28	病児送迎や受診付添サービス実施の数について	子育て支援課	病児送迎サービスの実績は0件(令和元年度は2件)、受診付添サービスの実績は3件(令和元年度は6件)でした。
28	コロナの関係で、送迎サービスは中止中と聞いているが、実施期間はどの程度あり、どのくらいの実績があったのか。実績がなくても続いてくサービスであるのか。	子育て支援課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月19日から9月12日までの間、病児送迎サービスと受診付添サービスは中止しました。なお、令和2年度の病児送迎サービスの実績は0件、受診付添サービスの実績は3件でした。コロナ禍で利用実績は少ない状況ですが、サービスの提供は維持していきます。
30	体調不良児等の預かりでの協力会員が極めて少ない理由とそれへの対策は	子育て支援課	ファミリー・サポート・センターは、援助希望者と協力会員をマッチングするものであり、病児・病後児の預かりはマッチングが難しい傾向にあると考えています。小学3年生までは、病児・病後児保育事業により対応することができます。

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
30	ファミサポでのサポート確実性が低いのであればそれは成果と言えるのか、そもそも根本的な解決が難しいのであれば、今後の方向性としては終了とすべきではないか。どのような解決方法が考えられるのか。	子育て支援課	同上
31	「支援」の具体的内容がわからないので教えていただきたい。また、その支援が障害児保育にかかわる園や保護者のニーズをどのように把握してどの程度満たしていると評価しているのか。	子育て支援課	集団保育が可能な障がい児を受入した場合、市が事業の実施に係る補助金を交付しています。また、障がいを抱える児童を保育する場合は、保護者と個別に面談を行い集団保育による保育かはまなし学園での保育かを相談しながら、保護者のニーズに沿った保育ができるよう努めています。
32	二重籍とは何か、交流保育とは何か。	子育て支援課	児童発達支援センター（はまなし学園）に在籍している児童が、保育所や認定こども園に在籍し、はまなし学園が終了後に集団保育を行うことを二重籍といい、保育所や認定こども園における集団活動を経験する時間をもつことを交流保育といいます。
34	どのようなニーズがあり、何を検討したのかがわからないと成果がわからない。	子育て支援課	重度の障がいの状態等にあり外出することが著しく困難な障がい児童については、発達の支援を受けたいニーズはあっても実現は困難な状態にあります。そのニーズに応えるため、対象となる児童宅に専門知識を有する職員が訪問し発達支援を行うことを検討し、職員を配置し、事業所指定を受けました。また、その実施に向けた検討では、ニーズがある児童の保護者との面談や職員配置等の実施体制の強化、職員の専門性向上を目的とした研修への参加などを行いました。

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
35	保育士の人材確保は感染症対応で中止となったが、申込件数はどれ位あったのか	子育て支援課	保育士人材確保のための就職ガイダンスについては、参加募集を行う前に中止の判断をしたため、申し込みはありませんでした。
38	学童保育の待機児童対策はコロナ下での共稼ぎ家庭では大きな問題と考えますが、施設整備以外での発生地域における協議の経過について	子育て支援課	学校の余裕教室の活用や学校近隣の空き家の活用など待機児童の解消に向け検討しています。
38	待機児童が発生している地域についてどのような協議を進めたのか。	子育て支援課	学校の余裕教室の活用や学校近隣の空き家の活用など待機児童の解消に向け検討しています。
40	放課後児童支援員の数を決めるにあたって考慮した要素を教えてください。40人ごとに2人と決めたことについて成果として判断できないため。	子育て支援課	考慮した要素は次のとおりです。 ①国の示す基準（放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準）では、参酌すべき基準として、支援単位毎に放課後児童支援員を2人以上設置するようにとされていること。 ②上記基準において、参酌すべき基準として、支援単位1あたり、児童数は概ね40人程度とされていること。
41	障がい児を学童保育所で受け入れるにあたって強化された体制とは何か。	子育て支援課	障がい児童を受け入れるにあたり、受入を行う学童保育所において専門的知識等を有する指導員の雇い入れを行っていただきました。また、各学童保育所に勤務する指導員の障がいに対する専門的知識の蓄積と研鑽を図るため、研修受講の斡旋等を行いました。
43	放課後子供教室の設置で宮野浦学区ではコロナで実施不可となったが、他学区での同様の実施に対する関心について ・社会教育文化課では毎年課長名で「子どもとの交流」～地	社会教育文化課 まちづくり推進課	現在、宮野浦学区において放課後子ども教室を実施していますが、コミュニティ振興会が自主事業として取り組んでいます。他学区の関心の表れとしては、昨年度より松陵学区から自

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
	<p>域の青少年活動を通して～という119頁に及ぶ冊子を発行して市内36コミ振の地域教育力の向上に対する報告をまとめており、文化センターには自由閲覧で置いてあります。私も立場上から毎年頂戴し、本年7/11には酒田市青少年を伸ばそう市民会議組織発足40周年記念事業を組織の代表の立場で全コミ振の「青少年育成部」の現状調査と課題という内容でアンケート調査を行い、それを元に私の基調提案と育成活動部長の司会に教育長の助言と市内5地区の組織代表からの事例提供による意見交換会を、市長や議会議長等の来賓を含んだ140名の参加で実施。私は以前に東禅寺コミ振の理事であった平成12年に「子ども育成部」から「青少年育成部」と名称や組織形態と内容を大幅に変えて4年間に亘って地域の先生の有効活用の元に事業を行い、その事が県内では私が代表の酒田市青少年を伸ばそう市民会議で実施中の『地域の子どもと大人との対話会』につながって県内では高い評価を受けており、47や48とも関連のある事から、他コミ振の『放課後子供教室』に対する関心度を確認させて下さい。</p>		<p>主事業として取り組みたいという相談があり、令和3年度より「学びと遊びの楽校」という名称で実施されています。</p>
48	<p>自粛ムードであったが、この交流事業は実施されたのか。</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>コロナ禍の影響で事業の中止が相次ぎましたが、それぞれの地域で実施方法を工夫し、最終的に地域実施団体21団体、事業数92事業、延べ参加人数4,795人となりました。</p>
49	<p>地域での子育て支援に対する学習機会の充実ではコロナで中止が相次いだとあるも、43に記載の『地域の子どもと大</p>	<p>社会教育文化課</p>	<p>「地域家庭教育講座」は、保護者への学習機会の提供を目的として実施しています。また、ワークショップ等を通し昨今の社</p>

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
	<p>人との対話会』は昨年に宮野浦小～十坂小～浜中小～黒森小～広野小を対象に行う予定だったがコロナで中止となった事から、発想を代えて紙面形式で実施。折角の企画である事から、講座内容の資料配布による間接的な実施も一つの方法と考えるが如何でしょうか？</p>		<p>会環境により孤立しがちな保護者同士の意見交換や交流の場という役割も担っています。また、県補助を活用している事業であり、要項上講座を通した保護者の感想と意見の聴取が必須となっているため、紙面開催では十分な効果を発揮することができません。しかし、最低限知識の習得のみを満たすことを目的とするならば、資料の配布等コロナ禍における開催方法について今後検討していきます。</p>
51	<p>屋内型児童遊戯施設の整備の検討はコロナで市民ワークショップは中止となり、経済状況の悪化から中断となっている。以前にこの件で新規の施設も検討課題ではあるものの、学校統合による施設の活用と地元住民による手作り遊具や体育器具の活用と地区ボランティアや子ども育成組織との連携による対応も考えられるとの私見を述べているが、市民ワークショップ開催時に提案してみてもは。また、企業スポンサー制度を取り入れての対応も一策と考えるが如何でしょうか？</p>	子育て支援課	<p>公共施設の活用や民間資本の活用も含め、様々な整備手法を検討していきます。また、児童が創意工夫により遊具の制作者の想定していない遊び方をした場合でも安全を確保するため、一定の安全基準を充たした遊具を設置する必要があると考えます。</p>
71 72 関連	<p>子宮頸がんについては、HPVの予防接種に関し、接種を積極的に進める方針に変更された報道があったが、酒田市でもそのように進める予定かどうか。また、積極的に接種をすすめる時期を逃してしまった女性に対しての接種への助成について実施を検討してもらえないか。</p>	健康課	<p>国からの方針が示され次第、検討していきます。</p>

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
91	コロナのために外出がはばかられ、相談をスムーズに進めることに困難あったかどうか、その困難にどのように対応されたのか伺いたい。	健康課	感染拡大時の教室実施や家庭訪問を制限していた期間は、妊産婦等市民の方も、ぎゅっとへの来所や家庭訪問で相談をためらう様子があり、電話相談を中心に実施していました。電話相談で緊急性や面談の必要性が高いと判断した方には、来所や家庭訪問で対応しました。また、来所を希望された方も、事前予約等、密にならぬよう配慮し対応しました。
92	派遣が1件となった理由は何か。そもそも虐待のリスクがあると一時保護が優先されるなどか。	子育て支援課 健康課	家庭養育上の問題を抱える家庭に対して相談支援を行うなかで、保護者が支援員の派遣を希望した家庭が1件であったためです。この事業は、子育て不安等の家庭養育上の問題を抱える家庭または児童養護施設等を退所後もしくは里親養育終了後に家庭復帰のためのアフターケアが必要な家庭に対して子ども家庭支援員を派遣し、適切な育児相談、支援を行うもので、地域における子育てのセーフティ・ネットの推進を図るために実施されています。
101	乳幼児健診での父親の参加率についても検討するべきではないか。	健康課	新型コロナウイルス感染症の感染拡大前は両親の乳幼児健診への来所も勧めていましたが、令和2年度より感染拡大予防のため、乳幼児健診の診察を委託している酒田地区小児科医会の助言もあり、保護者1名に制限しています。今後はその時の感染状況を踏まえつつ、小児科医会と相談しながら、保護者制限の緩和について検討していきます。
152	新聞報道にて酒田市内でいじめによる自死事例があったと聞くが、酒田市として今後の対応はどのようになっていくのか。	学校教育課	現在、酒田市いじめ問題対応委員会により、自死の背景や再発防止策などについて調査と審議を行っています。教育委員会では、その報告をもとに課題を改善し、再発防止に努めていき

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
			ます。
180 183	有害環境の除去は、市が行う場合、表現の自由の抵触に該当する可能性があるため、この取り組みを行うべきかどうかについて、補助金の交付であれば問題ないと判断されたのか。基準設置の有無及びある場合にはその内容を伺いたい。	学校教育課 社会教育文化課	酒田市青少年指導センター職員並びに青少年育成推進員が「山形県簡易広告物監視員の証」「山形県違反広告物簡易除去推進員証明書」を取得し、平成15年から有害広告物剥離の権限を行使しています。
224	取り組みなしとあるが、内容も難しいので、今後は終了でもよいのではないかと。	子育て支援課	重要な内容ですが、個別の市町村が単独で取り組むには難しい面もあるため、取り扱いについて今後検討していきます。
全般	日頃より、子育て支援に関して尽力いただいていると認識しております。ですがせっかくご尽力いただいているのにその内容が具体的に分からず、この方向性でよいのだ、と積極的に確信をもって言えないと感じる項目が多くありました。また、前から感じていたのですが、1回の会議で250を超える項目について意見を求められるため、なかなか検討がおいつきません。ただ、明らかにおかしいというところだけ意見を述べる場なのではないでしょうか。この会議の方法では協議といえるのかという疑問を持っています。1回の会議でこの分量を検討する必要があるのであれば、グループ分け及びグループごとの担当する取組を決めるとか、PTをつくるなどの方法によるべきではないでしょうか。ご検討いただけますと幸いです。	子育て支援課	本会議は、所掌事務として酒田市子ども・子育て支援事業計画の推進並びに進捗状況の点検及び評価に関することが規定されています。したがって、委員の皆さまには、取組内容に関するチェックとそれを踏まえた方向性への提言をお願いするものです。会議の開催方法については、計画の進行管理のあり方や会議の効率性等を勘案し、今後検討していきます。

令和2年度子ども・子育て支援事業計画実施状況等に関する子ども・子育て会議委員からの質問と回答

取組内容	質問	担当課	回答
生理用品サポート事業	生理用品の配布については、トイレへの常設も検討した方が良いのではないか。特に学生などは月経に対する知識も不足しており、恥ずかしいから言い出せないということもあると思う。トイレトペーパーのような必需品なので、トイレ内に数個ある状態が望ましいのではないかという点についてご検討いただきたい。	子育て支援課	この事業は、生理用品を用意することが難しい方への支援であるため、まずはその対象の方々へ配布することを目的に実施しています。トイレの個室へ配置することは、利用者の利便性向上につながりますが、施設管理上の制約などの課題があるため、今後の状況を踏まえ検討していきます。